



並木中等story

令和2年4月27日号

聴くことは難しい！？

今回も、休校で自宅学習をしている生徒の皆さんに伝えたいと思ったことを掲載しました。

皆さんは聞くと聴くの違いは分かりますか。辞書で引くと“聞く”は耳で音や声を感じ取る，“聴く”は耳を傾け注意して聞き取る、と出てきます。さて、皆さんは“聴くこと”はできるでしょうか。

私はかつて“聴く”ための勉強をしたことがあります。これは本当に難しい。今でもできるか、と聞かれたら、「十分にはできません。」と答えます。まず、“聴いた”と判断するのは相手です。私が“聴けた”と思っても、話した相手が聴いてもらえていないと判断したら、それは“聴けた”ことにはならないのです。私の“聴く勉強”では「事情聴取してるのではない。」「聞き手が長く話しててどうする。」とか言われました。

では、話した相手が“聴いてもらえた”と思う時はどんな時か。

- ・話を最後まで遮らないで聴いてもらえた。
- ・起こった事実より、話したい感情(気持ち)を聴いてもらえた。
- ・話を真剣に、親身に聴いてもらえた。
- ・聴き手が意見を押しつけなかった。このような時なのだそうです。



今は誰もいない4面あるテニスコート

言い方を変えると、話を聴く時は、自分の考えや思いをひとまず横に置いて、聴くことが大切。これが難しい。ついつい、私の考えや思いを途中で言いたくなるのです。また、私の感じたことを相手に話すのはいいのですが、それが押しつけと取られないようにすること。そのあたりが上手にできないと、相手は聴いてもらえなかった、やっぱり分かってくれなかった、となってしまうのです。今日は難しい話になりました。たまには、友達の話聞くのではなく、聴いてあげてください。